

地質学用語の中国語表記：第8回 学名に基づく中国名

伊藤 剛¹⁾

化石を含む生物の種名は学術的に規定され、学名として論文や学術書などで用いられる。学名の命名には様々な決まりがある(平嶋, 2002 など)。筆者が専門とする放散虫を例に挙げると、国際動物命名規約(International Code of Zoological Nomenclature)に従って記載・命名が行われる。

日本では学名に対して和名が存在し、主に論文・学術書以外の書籍などで用いられる。和名は論文内に書かれることは少なく、したがってすべての生物に和名があるわけではない。放散虫に関しては、ごく一部の現生種では和名が提案されているが(末友ほか, 2011 など)、ほとんどの種は和名を持っていない。

翻って中国に目を向けると、日本とは事情が異なる。中国語の論文や学術書では、生物種の中国語名が付記される例は少なくない。今回は、筆者の主要な研究対象であるペルム紀放散虫を例として、どのように中国語名がつけられているかを紹介する。

1. 中国語種名の基本的な表記法

二名法に基づく学名は、ラテン語で表記され、属名(名詞)と種小名(形容詞)の組み合わせにより構成されている。学名では形容詞である種小名が後ろにあるが、中国語では前に来る。そのため、中国語表記では、種名+属名の順番となる。これに高次分類群の名称を加えて表記される。高次分類群の名称は基本的に一字で表される。例えば恐竜であれば「龍」の簡体字である「龙(Lóng)」であり、放散虫であれば「虫(Chóng)」である。有孔虫の場合も「虫」が使用される。

生物の種名は、多くの場合、その種の特徴や産地に因む例そして献名による。産地に基づく場合と献名の場合は、漢字の有無により表記が異なる。

2. ペルム紀放散虫での例

第1表は中国語の論文で実際に表記されたペルム紀

放散虫の中国語名である。これを例として、中国語命名の特徴について解説する。

漢字が存在する場合はそのまま表記に使用される。例えば、中国の広西壮族自治区に由来する種小名の *Follicucullus guangxiensis* に関しては、「広西」の簡体字である「广西(Guǎng-xī)」が属名である「小囊虫(Xiǎo-náng-chóng)」に加わり「广西小囊虫(Guǎng-xī-xiǎo-náng-chóng)」となる。*Pseudoalbaillella yanaharensis* は日本の岡山県柵原^{やなはら}を模式地として記載されたため(Nishimura and Ishiga, 1987)、「柵原(Zhà-yuán)」が属名の「假阿尔拜虫(Jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」に組み合わせさせて「柵原假阿尔拜虫(Zhà-yuán-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」となる。南京の近くにある地名「龙潭(Lóng-tán)」は *Longtanella* 属と *Pseudoalbaillella longtanensis* の命名に用いられたため、それぞれの中国語名は「龙潭虫属(Lóng-tán-chóng-shǔ)」と「龙潭假阿尔拜虫(Lóng-tán-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」となっている。また、*Latentifistula texana* はアメリカのテキサスに由来するため(Nazarov and Ormiston, 1985)、テキサスの漢字「得克萨斯(Dé-kè-sà-sī)」が当てられ「得克萨斯隐管虫(Dé-kè-sà-sī-yīn-guǎn-chóng)」となっている。

日本人に献名された場合も漢字がそのまま使用される。*Ishigaum* 属及び *Pseudoalbaillella ishigai* は現島根大学の石賀裕明教授に献名されたため(De Wever and Caridroit, 1984; Wang *et al.*, 1994)、それぞれ「石賀裕明虫属(Shí-hè-yù-míng-chóng-shǔ)」と「石賀裕明氏假阿尔拜虫(Shí-hè-yù-míng-shì-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」となっている。ただし、後者に関しては Ma and Feng (2012) は「石氏假阿尔拜虫(Shí-shì-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」と、名前の一文字目のみである「石」に敬称「氏」が組み合わせさせている。

西洋など漢字を用いない人名・地名の場合は発音に基づいた漢字が当てられる。放散虫の例でいえば、*Albaillella* 属は Albaille 氏に献名されたため(Deflandre, 1952)、「阿尔拜(Ā-ěr-bài)」が当てられ、「阿尔拜虫属(Ā-ěr-bài-chóng-shǔ)」となった。さらに *Pseudoalbaillella* 属はこの *Albaillella* に pseudo を意味する「假(Jiǎ)」が合わさって「假阿尔拜虫属(Jiǎ-ā-ěr-bài-chóng-shǔ)」と表記される。

1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門

キーワード：地質学用語、中国語、日本語、英語、学名

第1表 ペルム紀放射散虫の中国名表記. 分類等については元論文に準拠した.

分類名	中国語文献		
	Sheng & Wang (1985)	Ma & Feng (2012)	Wang <i>et al.</i> (2012)
Radiolaria	放射虫亚纲	放射虫亚纲	放射虫亚门
Polycystina	多囊虫目	多囊虫超目	多囊虫超目
Albaillellaria	阿尔拜虫亚目	阿尔拜虫目	阿尔拜虫目
Albaillellidae	阿尔拜虫科	阿尔拜虫科	阿尔拜虫科
<i>Albaillella</i>		阿尔拜虫属	阿尔拜虫属
<i>A. sinuata</i>			波状阿尔拜虫
<i>A. sp. cf. A. sinuata</i>		波纹阿尔拜虫 (比较种)	
Follicucullidae		丑巾虫科	小囊虫科
<i>Follicucullus</i>		丑巾虫属	小囊虫属
<i>F. scholasticus</i> m. I		学人丑巾虫 (形态型 I)	
<i>F. guangxiensis</i>			广西小囊虫
<i>Pseudoalbaillella</i>	假阿尔拜虫属	假阿尔拜虫属	假阿尔拜虫属
<i>P. ornata</i>		装饰假阿尔拜虫	装饰假阿尔拜虫
<i>P. globosa</i>		球形假阿尔拜虫	球形假阿尔拜虫
<i>P. yanaharensis</i>		栅原假阿尔拜虫	栅原假阿尔拜虫
<i>P. ishigai</i>		石氏假阿尔拜虫	石贺裕明氏假阿尔拜虫
<i>P. longtanensis</i>	龙潭假阿尔拜虫		
<i>P. sp. aff. P. longicornis</i>			长角假阿尔拜虫 (亲近种)
<i>Longtanella</i>	龙潭虫属		
<i>L. zhenpanshanensis</i>	正盘山龙潭虫		
Latentifistularia		隐管虫目	隐管虫目
Latentifistulidae		隐管虫科	隐管虫科
<i>Latentifistula</i>		隐管虫属	隐管虫属
<i>L. crux</i>		十字隐管虫	
<i>L. taxana</i>			得克萨斯隐管虫
Caletellidae			考勒特虫科
<i>Ishigaum</i>			石贺裕明虫属
<i>I. trifistis</i>			三棍石贺裕明虫

形態などの特徴に基づいて命名された場合は、ラテン語の意味に沿った漢字が使用されている。例えば、*Albaillella sinuata* の種小名 *sinuata* は「波状の」といった意味をもつため、「波状アル拜虫 (Bō-zhuàng-ā-ěr-bài-chóng)」あるいは「波纹アル拜虫 (Bō-wén-ā-ěr-bài-chóng)」と表記される。同様に、「球状の」を意味する種小名 *globosa* を持つ *Pseudoalbaillella globosa* は「球形假アル拜虫 (Qiú-xíng-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」と表記され、「裝飾された」といった意味の種小名 *ornata* を持つ *Pseudoalbaillella ornata* は「裝飾假アル拜虫 (Zhuāng-shì-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」と表記される。

記号として、aff. が用いられる場合は「親近種」の簡体字の「亲近种 (Qīn-jìn-zhǒng)」が、cf. が用いられる場合は「比較種」の簡体字である「比较种 (Bǐ-jǎo-zhǒng)」が使用されている。また、morphotype を示す場合は「形態型」の簡体字の「形态型 (Xíng-tài-xíng)」が使われる。

ただし、日本の和名と同じく、中国名は学名ほど厳密なものではないことが読み取れる。*Albaillella sinuata* の *sinuata* に関しては、Sheng and Wang (1985) は「波状 (Bō-zhuàng)」と表現しているに対し、Ma and Feng (2012) は「波纹 (Bō-wén)」と記述している。また、先に書いた通り *Pseudoalbaillella ishigai* には「石賀裕明氏假アル拜虫 (Shí-hè-yù-míng-shì-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」と「石氏假アル拜虫 (Shí-shì-jiǎ-ā-ěr-bài-chóng)」の表記がある。これに加えて、献名の場合の敬称「氏 (Shì)」をつけるかどうかは定まっておらず、著者や論文によって異なる。*Follicucullus* 属は「小囊虫属 (Xiǎo-náng-chóng-shǔ)」(Wang *et al.*, 2012) と「丑巾虫属 (Chǒu-jīn-chóng-shǔ)」(Ma and Feng, 2012 など) との2つの例がある。この属の名前はラテン語の *follis* (= fool) と *cucullus* (= hood) の合成であり、命名者の Ormiston and Babcock (1979) は道化師の帽子 (jester's hood) に形態が似ているためとしている。「丑 (Chǒu)」と「巾 (Jīn)」の字にはそれぞれ道化師と帽子の意味があるため、「丑巾虫 (Chǒu-jīn-chóng)」はそれに基づく命名であろう。一方「小囊 (Xiǎo-náng)」は小さい袋といった意味があり、*Follicucullus* 属の形態に基づいているものと思われるが、原義とは異なる。従って、「丑巾虫 (Chǒu-jīn-chóng)」がより学名に忠実な表記であるといえる。

3. 学名の中国語表記の実践

Ito *et al.* (2017) は Corythoecidae 科の新属新種のペルム紀放散虫 *Qiania foremanae* を記載した。加えて既に記

載されていた *Arrectoalatus? uncinatus* の分類上の帰属を *Qiania* 属に変更し、*Qiania uncinata* とした。ここではこれらの属名・種小名を例として、学名の中国語表記を試みる。

Qiania 属は中国の「贵州 (Guì-zhōu)」省を模式地とする。その属名は「贵州」の略称「黔 (Qián)」に由来するため、「黔虫属 (Qián-chóng-shǔ)」となる。*Qiania foremanae* の種小名 *foremanae* は Foreman 氏への献名であるため、例えば「福曼 (Fú-màn)」といった当て字が使用されると考えられる。この漢字を使用するとすれば、「福曼黔虫 (Fú-màn-qián-chóng)」となる。一方、*Arrectoalatus uncinatus* の属名はラテン語の *arrectus* (= upraised) と *alatus* (= winged) を組み合わせたものである (Nazarov and Ormiston, 1985)。中国語では、それぞれ「提高 (Tígāo)」と「翼 (Yì)」などと訳される。ここでは、これらを合わせた上で「虫属」を加えた「提高翼虫属 (Tígāo-yì-chóng-shǔ)」とする。種小名の *uncinatus* はラテン語の *uncinus* (= curved) に由来するため、「曲折 (Qū-zhē), 屈曲 (Qū-qū)」などが加わった「曲折提高翼虫 (Qū-zhē-tígāo-yì-chóng)」が *Arrectoalatus uncinatus* の中国語表記になると考えられる。そして、属の分類が変更された *Qiania uncinata* は「曲折黔虫 (Qū-zhē-qián-chóng)」となる。なお、ラテン語の場合は属名の姓が変化すると種小名の語尾が変化するが、中国語表記の場合は種小名は変化しない。

ただし先に示したように、学名の中国語表記には必ずしもルールが定まっていない。例えば、略称の「黔 (Qián)」ではなく元の「贵州 (Guì-zhōu)」を用いて「贵州虫属 (Guì-zhōu-chóng-shǔ)」と表記される可能性がある。また、外来語への当て字は一定ではないため、Foreman の中国語表記もほかのものになるかもしれない。Wang *et al.* (2012) は Foreman に「福尔曼 (Fú-ěr-màn)」の字を当てている。「提高翼虫属 (Tígāo-yì-chóng-shǔ)」は省略した「提翼虫属 (Tí-yì-chóng-shǔ)」や「高翼虫属 (Gāo-yì-chóng-shǔ)」になることも考えられる。読み解くときには、いくつかの可能性を念頭に入れる必要がある。

文 献

- Deflandre, G. (1952) *Albaillella* nov. gen., du Carbonifère inférieur, type d'une lignee aberrante eteinte. *Comptes rendus hebdomadaires des séances de l'Académie des Sciences Francaise, Sciences de la terre et des planéts*, 329, 603–608.
- De Wever, P. and Caridroit, M. (1984) Description de

- Quelques Nouveaux Latentifistulidea (Radiolaires Polycystines) Paleozorques du Japon. *Revue de Micropaléontologie*, **27**, 98–106 (in French with English abstract).
- 平嶋義宏 (2002) 生物学名概論. 東京大学出版会, 東京, 249p.
- Ito, T., Gu, S.Z., Ai, Y. and Feng, Q.L. (2017) A new genus of the Corythoecidae (Paleozoic Radiolaria) from the Changhsingian (uppermost Permian) Dalong Formation in southern Guizhou, South China. *Paleontological Research*, **21**, 131–137.
- Ma, Q.F. and Feng, Q.L. (2012) Taxonomy and biostratigraphy of the Middle Permian radiolarian fauna from the Gufeng Formation in Juojiaba, West Hubei Province. *Acta Micropalaeontologica Sinica*, **29**, 402–415 (in Chinese with English abstract).
- Nazarov, B.B. and Ormiston, A.R. (1985) Radiolaria from the Late Paleozoic of the Southern Urals, USSR and West Texas, USA. *Micropaleontology*, **31**, 1–54.
- Nishimura, K. and Ishiga, H. (1987) Radiolarian Biostratigraphy of the Maizuru Group in Yanahara area, Southwest Japan. *Memoirs of the Faculty of Science and Engineering, Shimane University*, **21**, 169–188.
- Ormiston, A. and Babcock, L. (1979) *Follicucullus*, new radiolarian genus from the Guadalupian (Permian) Lamar Limestone of the Delaware Basin. *Journal of Paleontology*, **53**, 328–334.
- Sheng, J.Z. and Wang, Y.J. (1985) Fossil Radiolaria from the Kufeng Formation at Longtan, Nanjing. *Acta Palaeontologica Sinica*, **24**, 171–180 (in Chinese with English abstract).
- 末友靖隆・松山幸彦・上田拓史・上野俊士郎・佐野明子・濱岡秀樹・中島篤巳 (2011) 日本の海産プランクトン図鑑. 共立出版株式会社, 東京, 224p.
- Wang, Y.J., Chen, Y.N. and Yang, Q. (1994) Biostratigraphy and systematic of Permian radiolarians in China. *Palaeoworld*, **4**, 172–202.
- Wang, Y.J., Luo, H. and Yang, Q. (2012) *Late Paleozoic radiolarians in the Qinfang area, southeast Guangxi*. Press of University of Science and Technology of China, Anhui, 127p (in Chinese with English summary).
-
- ITO Tsuyoshi (2017) Geological terms in Chinese: Part 8. Chinese local name based on scientific name.
-
- (受付: 2016年7月25日)